

学校保健

編集発行
 日本学校保健会
 岩原 拓
 港区西久保
 東京 10番地
 明舟町 5840
 電話芝 (43) 4603
 振替口座東京 98761
 印刷所 伊東進歩堂
 東京文都区東青柳町30

日本学校保健会報
 昭和30年1月1日発行 (毎月1回1日発行)

頒価1部15円(送料とも)

教育の目的は、人格の完成及び社会の平和を成すに在り。是を達成するに、個人としての責任を重んじ、勤労を勉め、健康を維持し、心身の健全なる国民の育成を期すべし。

第四回 大会決議

学校保健法の制定に際しては、今日までたえずその推進を図るに努め、その実現を期すべし。本大会は、その実現を期すべく、本大会の決議事項を、各関係機関に周知し、その実現を期すべし。



「時評」 学校保健と健康長寿

学校保健の究極の目標は、常に健康であり、日本民族の平均寿命を伸ばし、このことにより豊かな経済生活と文化生活ならびに一般社会の福祉と安寧が建設せられ、現在日本が欲求している高い文化国家創造の理想に近づくことにあると信じる。(第四回大会研究発表「長寿と生活」弘前市城西小学校熊谷修吾)

まさに、そのとおりである。最近「健康長寿」が、大いに問題にせられているが、これは老人の長寿法といった意味の面が多分にあるようである。それよりもより大きな意味での、社会文化の向上に相違ないが、真の「健康長寿」は生れる前後(環境)からの問題である。単に薬や栄養だけの問題ではない。学校保健は、この点について、児童の理解を深め、かつ実践させるための教育でなければならない。その最も根本をなす理念は、「生命の尊重」ということであろう。

従つて、個人、家庭、社会、国家それぞれの立場で、「生命の尊重」について、深い関心をもたねばならぬわけである。ところが、このことは、言いやす行いがたいことで、最近ひん発する各種の人命損失事故を見ても、必しも天災とか不可抗力とかといえないものがあるようである。

学校保健関係者が、この「生命の尊重」を根底とした「健康長寿」についてさらに深く思いをひそめられよう、年頭にあつて特に強調して共感を祈りたい。(H)

第九号(一・二月)記事
 第四回全国学校保健大会 (特集)

- ・(大会概要・雑観・分科会議題・研究発表・分科会感想)
- ・病院学校の子供(竹内光春)
- ・欠席率と伝染病(蟻田功)
- ・新入児のしつけ(千葉たつ)
- ・全日本学校醫会・各地保健大会

学校保健関係法令集

文部省保健課監修・日本学校保健会編集

学校医、学校歯科医、学校薬剤師、養護教諭等学校保健関係者、学校図書室必備の本書は刊行以来各方面の絶賛をうけております。必要な法令をすべて収め、見やすく使いやすい本書を速刻御利用下さい。(B6判四五〇頁・定価二八〇円送料五〇円)申込送金は、本会又は発行所の帝國地方行政学会へ(東京都中央区銀座西七丁目一番地振替東京一〇、〇〇〇番)

八雲たつ出雲に千五百名参集

第四回全国学校保健大会

大会決議で「学校保健法」制定要望

第四回全国学校保健大会は十月九日午前九時半、出雲市立第一中学校の講堂に全国から千五百名の学校保健関係者が参集して盛大に開催。多大の成果をあげて十日閉会した。行事のおもなものについての概要は次のとおりである。

表彰式

恒例の表彰式は、本年度は文部大臣の表彰となつたが、岩原本会理事長の経過説明の後、学校保健委員会十一名、学校医二十二名、学校歯科医九名、学校薬剤師一名、養護教諭五名の表彰が行われ、岩原理事長から表彰状がわたされた。(表彰者は本誌前号既載)

故新井課長、故三宅会長追悼

この時多年学校保健に全力をつくして去る五月三十一日急逝された文部省保健課長新井博士および去る七月六日逝去された本会々長三宅敏一博士の追悼の動議があり、全員起立黙禱をさされた。(上の写真)

全体協議会
全体協議会のへき頭、次回大会開催についてはかつた結果、満場異議なく次回開催は福井県と決定した。協議会では各府県より提出された十二議題について熱心に討議された。学校保健法推進経過については、同推進協議会幹事長長倉駒場高校々長から報告があつた。
学校保健法制定の早期実現は、すべての問題解決に共通の基底となるものであろう。
村上教授の特別講演
金沢大学村上賢三博士は「学校保健における今日の課題と体力問題」を論ぜられ、「健康と教育とは切り離せないこと、健康長寿が終局の目標であること」を具体的な資料を駆使しての講話で、感銘を与えた。
分科協議会
第二日十日は、七つの会場でわかれて七つの分科会がもたれ、熱心かつ活発な討議が行われた。多少の混乱は見られたが、各部会とも有意義な主題で、学校保健の推進向上はこうした雰囲気から盛り上つてくることが痛感された。
研究発表
十九名の発表は時間的にも無理があつたとおもわれるが、すべて突の入つた研究であつた。大会の研究発表集録が、貴重な文献として役立つことはもちろんで、大会の成果の最大なものといえよう。

大会決議
研究発表が終つて、全体協議会にうつり、各分科協議会の報告があり、各分科共通の結論ともみるべき大会決議(別掲)が行われた。
学校視察(第三日)
伝統的に健康優良校を多数出している島根県は、学校視察にとつてはまことに恵まれてゐるわけで、しかも、視察には、歴史と風光にとむ秋色の出雲路をわけ入つて、歩を進めるので、まさに一石二鳥でもあつた。視察学校の主なものは次のとおり。

- 県立松江高等学校
- 松江市立第二中学校(県優良校)
- 松江市内中原小学校
- (二七年度準日本一)
- 須佐村立須佐西小学校
- (二六年度日本一)
- 江津市立二宮小学校
- (二七年度日本一)
- 大田市立川合小学校
- (二八年度準日本一)

疾病予防部会 に列して

筆者は、第二日分科会であるこの会を聴いた。満場を圧する参聴者であつた。議長団は、地元各地区の学校医のトリオであり、大会に列した校医諸君はおそらく全員がこの分科会に集まつたことであらう。
午前九時から正午まで、正味三時間きわめて熱心に静肅に始終した。

協議会では鳥取提唱の「学校身体検査における疾病異常の発見について如何なる改善策を講ずべきか」を筆頭に和歌山の「トラホーム治療費半額国庫負担の件」にいたる六題を総かつすると、身体検査改善策と疾病の予防治療費国庫負担の要求なる二題材で大会協議会としては聊か低調であつた感があつた。一般にやや上すべりの感があり、追加討論に至つては傾聴に値するものもあつたが、中にはハツタリ説もあり、また協議会毎に強引に立つて論述する博学者も見た。大阪府出題の身体検査規定改正論には大阪一流の数名のトリオを以て論じまくり、伊賀長老先生まで教回も立ち、遂には例の学徒健康保険説までとび出す壮観を呈した。

協議会貧困は、今後の大会主催の上で大いに検討に値すると思うが、筆者などは大会受付で貰つた書類によつて始めて知つた次第で、大方の参会者も同様と思う。協議会にしろ、研究発表会にしろ一二ヶ月前に参会者に知悉せしめ予めむきむきによつて研究と反省を重ねて大会に臨めるように是非したいものである。
身体検査規定の改正は只今主務省の委員会で慎重審議を重ねられつつあり、近くわれわれの首こうでできる線で発表されると思う。都市の結核検診、地方農村における寄生虫トラホーム撲滅費を現在より倍して国庫が負担せよという問題は大会毎に繰返されてはいるが、筆者から見れば当分実現が困難に近いと言いたい。
今は亡き新井英夫課長が本年の初頭に或る公会の席上「学校保健管理は従来予防の線に釘づけられたが、最近の情勢は治療面にも一歩を踏み

謹賀新年

(アイウエオ順)

R・N・K 商 会

S S 製薬株式会社

河合製薬株式会社

グレンラン製薬株式会社

三共 株式会社

佐藤製薬株式会社

塩野義製薬株式会社

株式会社 純正舎

柴田化学器械工業株式会社

武田薬品工業株式会社

第一製薬株式会社

田辺製薬株式会社

大正製薬株式会社

鳥井薬品株式会社

日紳薬品工業株式会社

日本新薬株式会社

日本教学工業株式会社

万有製薬株式会社

藤沢薬品工業株式会社

ライオン歯磨株式会社

本会会報について、昨年中各位の御理解ある御後援に対し、深謝致します。今後も学校保健のため御厚情を賜り度く、御願ひ申上げます。

会報部会計 可 兒 重 一

出さなければならなくなつた。この情勢は世界的のものであると喝破されたのを思い起す。与論の一徹は岩をも通すであらう。よろしく波状進攻によつて目的を達するねばりを諦めてはならない。(広瀬生)

健康教育部会状況

会場は松江市立母衣小学校。出席者約二百五十名余。傍聴席も満員の盛況であつた。発言の様子から察して、校長、保健主事、養護教諭が大部分をしめていたようである。

前日の全体協議会では、出席者多くしかも各職種入り混りであつたため、協議はやや表面をすべつて結論を強いるという感があつたが、この部会では出席者の数も少く、討議は予想以上に深く掘り下げられ、聞いていても面白いほどであつた。

協議題は次の五題であつた。
一、学校保健に関する現職教育の振興方策について(岡山県教育委員会提案)

(要旨)校長、保健主事、保健担当教員に健康教育の重要性を認識させるような現場教育の方法を講じる必要がある。保健主事にはその中心になれるような法的根拠を持たせてもらいたい。
二、小学校における健康教育の位置づけについて(高根県学校保健協会提案)
(要旨)保健学習に対する時間を特設し、健康教育のカリキュラムを作る必要がある。
三、虚弱児童生徒に対する健康指導の振興策について(東京都学校

保健会校長部会提案)

(要旨)養護学級の設置は絶対必要であるから、養護学級編成に対し教員の定数外配当と予算の措置を当局に陳情したい。

四、運動選手の健康管理について(徳島県教育委員会提案)

(要旨)選手は疲労から健康をこわしがちであるから、選手の健康管理と指導を生活全般にわたつて行う必要がある。

五、近時学徒のう蝕罹患率の高きに鑑み歯科衛生教育の徹底を期するよう当局に要望する件(大阪市学校保健会)

(要旨)歯科治療器具を保健室に備えることは既に通達済であるが徹底しないから重ねて通達してほしい。また僻地学校に歯科医の設置並びに巡回治療の方策を立てよう当局に要望したい。(東京深川一中校長武田良三郎)

学校環境衛生部会

出席者一三五名司会者、議長団一心に会の進行をはかり、出席者と終始熱心に協議し時間一杯かかつて相等の成果を得たと思う。提出された四つの議案についての報告は大会においてプリントされた。この分科会で特に注目された点は東北大学の近藤教授から会場に配布された学校環境衛生の要点をまとめたプリントで、きわめて適切であると思う。要はこれを如何に具体的に一步一步実行に移すかであり、本年七月出来た文部省令による学校薬剤師の制度を速に拡充し、その活動に期待する声が大

きかつた。なおこの部会でのさしあつたつて重大な問題は学校の便所と排泄物処理の具体策でこの問題は至急にその対策を講ずる必要が痛感される。最後にこの分科会で決定した学校保健室備付薬品の基準については本誌次号で発表の予定。(永山)

学校保健組織部会

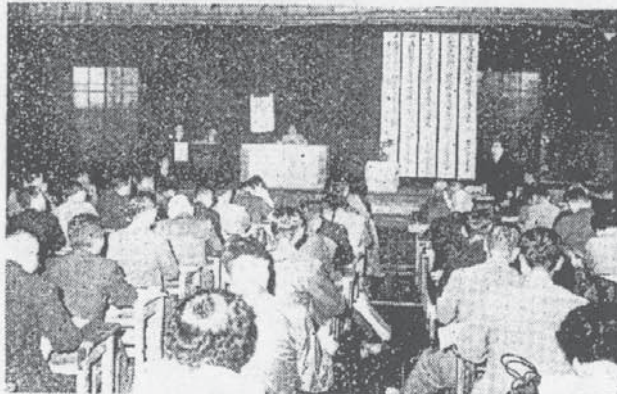
松江市立第一中学校講堂で、定刻午前九時に開かれ、出席二百有余名議題は八項目であつた。(別掲)

部頭に昨年度高松大会で決議された、学校保健推進協議会の問題が論議され、同会幹事長長倉氏から印刷物による経過報告がなされた。創立準備費の未納県が二十七県あると、きいて、この問題を「第一に解決すべし」と高唱するものが多かつた。なおこの問題については第六部会学校行政部会でも強力な発言があり慎重な検討があつた。

この部会で決定されたことは、
1、各学校における学校保健委員会の組織強化と活動の活性化
2、学校保健に対する地域社会の理解認識を深める。
3、各都道府県の学校保健推進協議会の組織強化と活動の活性化
4、全国学校保健推進連合会の強化育成につとめる(未加入県加入促進、中央本部役員経費の強化充実)
5、学校保健法の法制化を促進等主として学校保健推進協議会の活動の強化推進が重点であつた。
第四、第五号議題については
1、学校保健法の制定を待つこと

なく全教員が学校保健について研修するための機会をつくる。
2、各地域に適應する実質的な組織をつくつて運営の妙をはかる。
3、指導陣の強化につとめる。
第六号、第七号議題については
1、様式、形式を一定化、単純化し、継続的な健康観察を可能ならしめる。
2、文部省、厚生省に本大会の名を以て陳情する。

第八号議題については、各都道府県教育委員会に医師、歯科医師、薬剤師等の専門的指導員をおくよう世論を喚起し、関係当局に働きかける。この会議中文部省緒方初中局長、同佐藤保健課長補佐、岩原学校保健会理事長が臨席され、会員の学校保健に対する熱意と努力に対し、感謝と激励のことがあつた(小林)



(写真は健康教育部会)

☆新発売☆

駆虫率の高い

カイニン酸とサントニンの複合駆虫剤

ジゲサン



本剤は海人草の結晶有効成分『カイニン酸』と『サントニン』とを、最も駆虫率の高い割合に混合した複合剤で各単独投与に比べ、はるかに効果的な事が認められている。又海人草の臭味がなく、サントニン単独服用時にみられる黄視は殆んど起らない。

種類	成分	
	カイニン酸	サントニン
錠剤 (1錠中)	5mg	25mg
末 (1瓦中)	20mg	100mg

【包装】錠剤 100錠・末 10瓦

大阪市東区道修町 和田薬品工業株式会社 東京・札幌・福岡 (ジゲ6)

全体協議会議題

学校保健を全国的に強化推進する方策について(京都市)
 学校保健法の経過について(大阪市大阪府)
 学校保健法の制定促進(関東甲信越静岡ブロック、宮城県、石川県、神奈川県、宮崎県、鳥根県)
 全国学校保健推進連合会の活動方法について(岡山県)
 学校保健主事の設置と職務の法制化について(千葉県、青森県)
 養護教諭必置制実現のため学校教育法規則第一〇三条の即時削除(大阪府、山形県、東京都、和歌山県)
 養護教諭を普通教員と別わけて各校に必置すること(香川県、北陸三県、神奈川県、横浜市、三重県、広島県、鳥根県)
 学校医、学校歯科医、学校薬剤師の報酬の確立に関して(愛知県)
 学校医等の手当に対する国庫負担制度について(宮崎県)
 学校薬剤師を全国各小中学校に設定するよう関係当局へ陳情する件(大阪市)
 学校保健に関する諸種の法規修正を要望する件(大阪市)
 肢体不自由施設に対する国庫補助陳情の件(兵庫県、姫路市)
 小中学校の定期身体検査の結果疾病の治療を国費によつて処理する要望の件(栃木県)
 教職員結核健康診断を年二回実施に關する国庫補助について(青森県)
 教職員結核休職三年実施とする件(和歌山県)
 近時生徒のう蝕罹患率の高きに鑑み

歯科衛生教育の徹底を期するよう当局に要望する件(大阪市)
 寄生虫駆除薬代価国庫支給とする件(和歌山県)
 再び学校保健法の制定方を日本学校保健会及び文部省へ要望する件(名古屋市)
 日本学校保健会の強化について(福岡県)
 学校看護婦必置方法制度化要望の件(名古屋市)
 注：カツコ内は提出縣学校保健会又は教育委員会等を示す)

分科協議会議題

第一、学校保健組織部会
 学校保健を全国的に強化推進する方策について(京都市)
 全国学校保健推進連合会の活動方法について(岡山県)
 学校保健推進協議会活動の活ばつたを促進する件(群馬県)
 学校保健に関する現職教育の振興方策について(岡山県)
 学校保健委員会の再検討(京都市)
 身体検査票の全国統一について(横浜市)
 学身体検査票及び結核予防法の個人票(第一、第三様式)について(鳥取県)
 保健指導員の強化について(東京都)
 第二、疾病予防部会
 学校身体検査における疾病異常の発見について如何なる改善策を講ずべきか(鳥取県)
 児童、生徒、教諭の健康管理強化のため学校身体検査規程の改正とその強化(大阪府)
 農村児童生徒の寄生虫防除の対策に

ついて(愛媛県)
 寄生虫駆除薬代価国庫支給とする件(和歌山県)
 児童生徒のトラホーム集団治療の普及方策如何(鳥根県)
 トラホーム治療費半額国庫負担の件(和歌山県)
 第三、学校給食部会
 農村児童生徒の栄養問題について(愛媛県)
 学校給食指導要項設定に関する件(鳥根県)
 学校給食施設の基準制定に関する件(鳥根県)
 へき地における完全給食実施奨励とその具体的推進方策樹立の件(鳥根県)
 第四、健康教育部会
 学校保健に関する現職教育の振興方策について(岡山県)
 小学校における健康教育の位置づけについて(鳥根県)
 虚弱児童生徒に対する健康指導の振興策について(東京都)
 運動選手健康管理について(徳島県)

第五、学校環境部会
 保健室及び学校保健環境の拡充について(北陸三県)
 学校保健室備付薬品の基準について(東京都)
 学校保健室の常備薬品を設定するの件(大阪府)
 学校保健環境の基準を速かに設定方を関係方面に要望(鳥根県)
 第六、学校保健行政部会
 学校保健に関する諸種の法規修正を要望(大阪府)

生徒健康保険組合の法制化を当局に要望(大阪市)
 肢体不自由児童施設に対する国庫補助陳情(兵庫県、姫路市)
 教職員の休職復職の基準について(徳島県)
 学校医、学校歯科医、学校薬剤師の報酬確立について(愛知県)
 学校医等の手当の国庫負担制度について(宮崎県)
 中学校健康優良校表彰制度を設けることについて(宮城県)
 第七、大学部会
 大学における健康教育の強化について(愛知県)
 学校保健に関する現職教育の振興方策について(岡山県)
 生徒健康保険組合の法制化を当局に要望する件(鳥根大学)
 学生健康相談所専従のレントゲン技師員看護婦及び事務員の配置について(鳥根大学)
 在校時における学生生徒児童の死傷者の災害に対する医療費の給付その他の補償に関する制度の法制化について(鳥根大学)

研究発表

学校給食パンの品質について(東京都塩崎国夫他三名)
 教室の照明とその対策(埼玉大学助教杉浦正輝)
 ツベルクリンアレルギーとBCG潰瘍について(茨城県石川壽彦、鈴木憲一)
 身体検査中疾病異常及び歯牙検査集計上の一考察(栃木県岡安恒輔)
 本県学校トラホームの頻度とテラマイシンによる治療報告(群馬県武光

ツ反応

陽転者要注意者の
 発病予防に!

☆服み易い
 ☆胃を悪くしない
 ☆有効血中濃度が長くつゞく

ニッパズ
 カルシウム

田辺製薬

つきのよい...

ニチバンの
 絆創膏

ニチバン

多四郎、田島治郎)
 高等学校における結核管理上の問題
 (金沢二水高校木南金次郎)
 化学工場が隣接学校に及ぼす影響に
 ついて(大垣市森信之)
 結核療養所内に併置された学校にお
 ける結核児の健康指導(愛知県松本
 直彦)
 肢体不自由児に光をあたえよ(姫路
 市堀川康夫)
 昭和二七年度より三ヶ年の入学児童
 綜合身体検査結論(高松市永井啓)
 健康健康教育指導以前の問題(佐賀大
 付中杜茂)
 所謂貧血児の二、三の問題(長崎市
 角功他四名)
 学校保健事業と生徒機能の変化(長
 崎大学教授川津哲郎)
 虚弱児の体育指導(山鹿市吉里哲也)
 ツベルクリン、BCGに関する研究
 第四報(福岡市荒井正雄)
 給食操作と消毒及び蛔虫の面よりみ
 たる学校衛生の調査(大阪市福住誠
 三、見田亮三郎)
 健康観察の要領と事務処理について
 (京都市松下繁子)
 本校生徒の栄養調査について(名古
 屋市石川道雄)
 大阪府における対外競技出場者の健
 康管理第一報(大阪府丸岡隆二)

紙上研究発表者

吉野安久他二名(高根) 熊谷修吾(青
 森)加藤純一郎(茨城)村田義郎他(東
 京)坂本久(千葉)本多信三郎(新潟)
 平田鉄逸(岐阜)田中耕(岡山)松岡竜
 雄(鳥取)藤井公(山口)福家勝(徳島)
 玉城三郎(徳島)鳥原ヒサ(宮崎)大島
 明雄(大阪)三牧信知(大阪)鳥山数衛
 (神奈川)広出良夫(三重)

大会あれこれ

○第四回全国学校保健大会の最も
 大きな特色は、わが国発祥の地とも
 いわれる簸ノ川を抱く、出雲で開か
 れたばかりでなく、その会場が出雲
 今市(大社町を含む)と松江市との
 両市にわかれたことである。その間
 に宍道湖がよこたわり、汽車とバス
 がこれをつなぐといえ、その
 距離は一時間行程だったので、主催
 者の骨折りは大変なものであった。
 おまけに松江市、出雲市、大社町か
 ら、それぞれお土産品が出るという
 有様で名実共に全県下をあげての観
 迎という感が深かった。

○昨年の香川大会でもそうであつ
 たが、今年の鳥根大会の出雲会場で
 も二〇〇〇人を悠々に入れる新築され
 た屋内体操場が主会場であつて、そ
 こえ全国から集る全員を手際よく収
 容する主催者の骨折を心から敬服せ
 ずにはおられなかつた。この点は次
 回大会を引き受けるべく、はるばる
 視察にこられた福井県の氏田教育長
 をびつくりさせるに充分であつた。
 教育長はびつくりしたとも言えない
 から「実に盛大だなあ」と歓声を
 発しておられたが、この嘆声は嬉し
 くもあり又来年の準備を心配する嘆
 声でもあつたであらう。

○今回の大会で始めて試みたのは
 部会のやり方を改めた点だつた。従
 来の部会は職域別部会で学校医・学
 校歯科医・学校薬剤師・校長・保健
 主事・養護教諭・PTA・大学部会
 等に分れていたが、今回はそれを別

記の事項別部会に改めたものであ
 る。これがうまく運営されるかどう
 か、かなり心配をしたのであつた、
 しかしすでにプロックの大会や、県
 の大会などで試験済みであつたせい
 か、思ったより混雑せず、まずまず
 及第点というところであつた。これ
 も鳥根県準備委員会の骨折のため
 のと思う。もつとも、もう一つの原
 因は大会の前日又は大会中に学校医
 の大会、学校歯科医の大会、学校薬
 剤師の大会、養護教諭の大会等がそ
 れぞれ盛大に行われていた、とい
 う事も今回の大会がうまくいった一
 つの原因であつたかもしれない。

○鳥根大会で特筆しなければなら
 ぬことは、大会の前日午前午後
 にかけて松江市の鳥根大学文理学部
 の講堂で日本学校保健学会の設立総
 会と第一回総会とが開かれたこと
 だ、一さの準備は鳥根大学の荻野
 教授が尽力され、文部省の湯浅博士
 と緊密な連絡のもとに進められた労
 苦に対し感謝せずにはいられない。
 第一回総会の演説も、その構成団体
 である各プロック学会からの研究概
 要の報告や、各プロックで選定の優
 秀発表が行われ極めて実の入つたも
 のであつた。

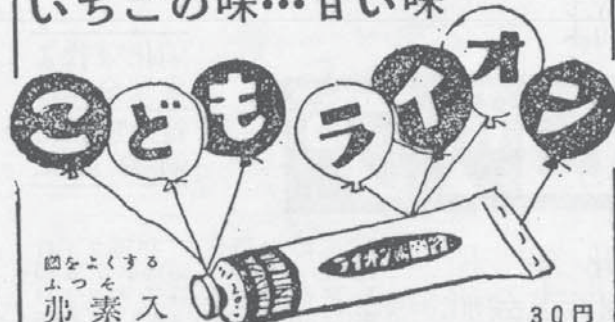
この学会の会長となられた東大名
 誉教授の栗山博士は朝日新聞主催の
 健康優良学校の視察を兼ねて出席さ
 れたことは言うまでもない。又、東
 北学校保健学会長の近藤正二博士、
 北陸学校保健学会長の金沢大学教授
 村上賢三博士、東海学校保健学会の
 名古屋大学水野宏教授、近畿学校保
 健学会長の大阪学芸大学教授伊東祐
 一博士、中国学校保健学会の鳥根大

学荻野教授および岡山県学校保健会
 長大西永次郎氏の歴々が見えた。惜
 しいかな九州学校保健学会長の九州
 大学教授遠城寺宗徳博士は用務の都
 合で見えなかつたのは残念だつた。

○本大会に関連して日本学校医会
 と日本学校歯科医会とが新たに結成
 をみたことは特筆に値する。又日本
 学校薬剤師会はすでに数年前に結成
 されたのであり、日本学校養護会も
 すでに結成されていたのであつて、
 それが本年は充実の気運に向つたよ
 うである。日本学校医会は、一昨年
 あたりからその気運が燃えあがつて
 いたが、昨年、本年と急にビツチが
 あり、本年は鳥根大会の際極めて
 敏速に結成をみたのである。たゞ会
 長・副会長、その他の役員の決定は
 東京都学校医会に一任されたのでや
 がて決定をみるであらう。日本学校
 歯科医会は数年前からこういう情勢
 にあつてその結成を急いでいたよう
 であるが、昨年の準備が今年の結成
 を見るに至つたと言つてよからう。

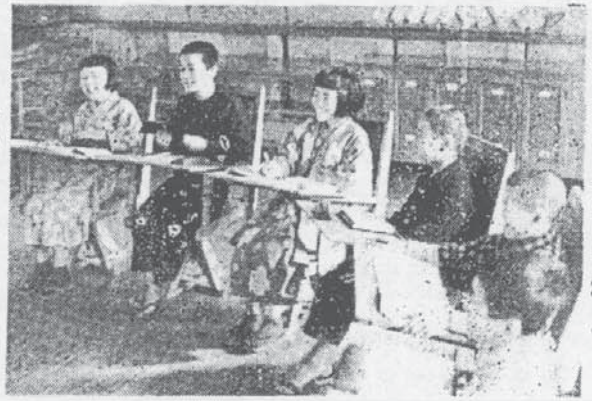
その会則をみると日本学校歯科医会
 は一方日本歯科医師会と連絡を保つ
 と共に一方日本学校保健会とも緊密
 な連絡をとるとあつて、とりあえず
 本会岩原理事長は顧問に依頼されて
 いる。学校薬剤師会は本年その設置
 規定が出来たが、その規定を促進す
 るためにすでに数年前から学校薬剤
 師会ができていて、従前から活潑に
 動いている。養護教諭会は動きとし
 てはそれ程活潑化しているとは言え
 まいが、やゝもすれば混同されよう
 とする教員組合活動と一線を画して
 養護教諭事業の研究に没頭せんとす
 る趣旨には全く感動する。(I)

いちごの味...甘い味



Vita Baby 坊やはらアマ3つ
 綜合ビタミン
ビタベビー
 虚弱児・へん食する方・結核予防
 100錠350円 200錠870円・団体用大瓶 第一製薬

(三条療養学園の教室)



病院で勉強する

こどもたち

新潟から一時間ほど上野よりの三条市の郊外、信濃川をゆききする帆のみえるあたりに新潟県立三条結核病院がある。

大きな油絵のある玄関を入つて、いくつもの病棟をぬけて長い廊下の突きあたりの一むねが小児病棟である。この病棟に三部屋、他に一部屋合計四部屋の教室がある。これらの教室と病室などの施設が三条療養学園である。

この学園は、病院が新設されて間もない、昭和二十八年二月に県教委の努力をえて三条市立三条小学校及び三条市三条中学校の分校として設置されたものである。現在、大小二〇室の小児病棟には

八八名の患者が入院しているが、そのうち四名が授業許可者としてこの教室で授業をうけている。

病室の入口に下げたある患者の名札には安静度を示す円い千代紙がはつてある、その傍の壁には県内の丈夫なこどもたちから送られた絵がところ狭いばかりにはらわれている。

花や鶴などで美しくかざられた病室をのぞくと、親の膝下をはなれて全県下から集つて、こどもたちが、案内の竹石利一先生(この療養学園の主事)をみて「おはようございます」とベットのの上からよびかけてくる。もうすつかり娘らしくなつた中学生が牛乳をのんでいる。

教室へ入つてみる。先生の机以外には一つも机がない。医者が診療するときに坐る廻転椅子に似た椅子に、ノートがのる程度の机代用の板のついた椅子がならべてある。生徒はこれによりかかつて体を楽にしたがら勉強するしかけである。

いま朝礼で、椅子の後に三、四十人のこどもたちが立つている。おそらくねまきであろう、ツケヒモのついたカスリの着物などをきたこどもたちの顔をじつとみわたす。

どの顔も気のせいにかかにも病人らしくいたいたしい。なかでも生白いしまりのない独特の風ぼうの子が目にとまる。あとできいてみると発作的に凶性を発揮することがあるという。白衣をきた先生が、病気にめげず希望をもつて今日も療養し勉強しようという意味の朝のことばの音頭をとる。

やがて、一・二年一二人、三・四年六人、五・六年九人、中学一四人と四教室に分れ四人の受持の先生の

もとで学習が始められる。授業時間は、いずれの学年も、一週間に、国語五、算数五、社会三、理科二、特教二の合計一七時間である。教員室にはりだされた日課表は安静度によつて区別されているが、五度の全部と四度のうち五度に近いものが授業許可になつており、それは、午前八―九時静臥(適時ねたままお話し、読書、ラヂオ、軽い手工おあそびゲーム等を加える)九―一〇時教室での学習、一〇―一一時静臥、一一―一二時学習、午後一―三時絶対安静、三―四時学習、四―五時自由時間、六―八時自用研究となつている。療養と学習とはさまれた教師の苦勞が思われる。三度より重いものは教室での授業は許可されていない。

この学園の経費は県教委から支出されており、入院費は原則として自費だが、大部分は生活保健法又は健

保、国保、共済を利用して無料の者が多い。病類別には、浸潤型肺結核症六七%、初期変化群一七%、播種状肺結核症六%、その他一〇%となつてい

る。こんな病人になぜ勉強をさせねばならないのだからかという疑問に対して、院長は「最近の化学療法は進歩によつて昔は死んでいたようなこどもが助かるようになったが、それは治つたわけではなく、大人になつて手術ができるようになるまで待たねばならないケースが増えてくる。このことは、文字の讀めない大人ができることを意味する。これを防ぐことが病院が学校を求め理由である。そしてどの程度のもの(五度に近い四度より重いもの)まで障りなしに勉強ができるかを研究して行きたいと思つている」と語つてくれた(文部事務官 竹内光春)

最近、我が国で流行してゐる伝染病としては赤痢、猩紅熱、ジフテリア、インフルエンザなどがある。これらの伝染病は、全部、子供が一番罹りやすい伝染病だが、この意味で、小学校は、これらの伝染病が最も発生し易い温床ということになる。

小學校では、伝染病に罹り易い子供が、多数、密集して生活してゐるし、インフルエンザにしろ、猩紅熱にしろ、その感染力は恐るべきものである。

昭和二十五年には、厚生省、防疫課に報告された、全国の推定患者数は、約五〇〇万であり、そのうち小中、高等学校の罹患者、約一〇九万

である。いま例に、昭和二十八年のインフルエンザ流行の時の、小学校の罹患者状況を考へてみよう。インフルエンザの流行期には、その爆発的流行が報せられるのは、小学校から始りである。昭和二十五年には、厚生省、防疫課に報告された、全国の推定患者数は、約五〇〇万であり、そのうち小中、高等学校の罹患者、約一〇九万

小学校の欠席率と小児伝染病

厚生省防疫課 蟻田 功

昭和二十五年には、厚生省、防疫課に報告された、全国の推定患者数は、約五〇〇万であり、そのうち小中、高等学校の罹患者、約一〇九万

学童の栄養補給には



消化吸収よき完全乳化
特殊皮膜で効力安定

(学校用) 一粒中のビタミン含量
A 2.500 国際單位
D 250 国際單位

河合研究所
河合製薬株式会社

東京都中野区野方2丁目
電話 4746
東京都中野区野方2丁目
電話 (38) 443 415

休校をした学校数は、二八三校に及んでいる。

またジフテリアの集団発生が、最近、ところどころで報せられるが、これにも、小学校が、よくやられて

いる。例え、昭和二十九年には、塩釜第三小学校は、十六名の患者、五五二名の保菌者をだした。

埼玉県の小川小学校では、昭和二十八年に、三十二名の患者を報じている。又、今年の十月には、鳥根の平田町の小学校に、約七名の患者をみて、現在、調査中である。

その他、猩紅熱、赤痢、給食病等小学校が、侵襲をうけた例は、数多くある。

以上の小學校の集團発生をみて、まず、気づくことは、もつと流行が大事に至らない前にその蔓延をくい止められなかつたか、ということである。

例え、インフルエンザでは、児童が多く休み始めたら、そのなりゆきを監視して、もし必要なら、罹患クラスを休ませて、学校全体にインフルエンザが拡まらないような処置をとる。

いままでの集團発生をみると、しかし、残念ながら、必ずしもすぐさま伝染病が、拡まらないような処置はとられない場合があるようである

例え、埼玉県のジフテリアの例では、初めの患者がでて、十五日位たつて、はじめてジフテリアの流行と気づいた。この場合、もしもつと早くジフテリアと判つていたら、予防接種なり、患者の隔離等によつて大事に至らずにすんだらう。

こんなことを考えれば、小学校の

保健衛生の係りは、伝染病の流行期には、常に子供達の欠席率に深い注意を払つておくべきである。学童がカゼで、多く休んでいると思つても果してかぜかどうかは、調査してみないと、例え、埼玉のジフテリアの例のように、判らないことがある。

石川県では、こんな点を考えて、興味深い方法を考へている。小学校が、その地区の保健所と、緊密に連絡して、欠席率を保健所に知らせ、保健所では欠席率が三%と

思つたら、小学校の保健衛生の係りと、協力して、その原因をしらべ、予防対策をたてている。

もう少し、この方法を精しく、のべてみると、次のようである。

保健所は、小学校に、在籍児童数と欠席者を、学年別に、記入できるような、表を葉書に刷つて一年分、小学校に配布しておく。

小学校では、毎日、この表に、記載事項をかきこんで、一週間毎に、

新入児童をむかえて、学校でまず一番困る問題は、児童の大半が便所のしつけができていないことである

授業中に絶えず席をたつて便所に行くことを求めるばかりでなく、教室でしくじつて泣きだしたり、便所に行つて後始末のできない児童もある。

また、「登校嘔吐」ともいわれる

新入学児童のしつけ

学校と家庭と密接な連絡

ポストに入れる。保健所では、この表によつて、グラフをつくり、怪しいと思つたら、すぐ小学校に連絡する。又、小学校でも、どうも欠席者が通常になく多

いと思つたら、保健所に葉書以外にも、電話をかけたります。こうして、石川県の小学校では、常に伝染者の蔓延を未然にいとめて

いる。勿論この場合、石川県の衛生部は、県の教育委員会と、よく話し合つて、連絡をとつていく。

効果例としては、例え、門前、楠北小学校では、五月にインフルエンザの流行がおこつたが、通常、五

月にはインフルエンザは、殆ど流行しないのだが、欠席率をみていくことによつて、その欠席の原因をつきと

め、万全の策をとることができた。これから、ジフテリアや、インフルエンザの流行期にはいるが、以上

のような方策が各小学校でとられたら、伝染病の予防対策上、甚だ有効だと思われ。

嘔吐も困るものの一つである。これは家庭で朝の時間をぎりぎりに起し

て食事をかきこませ、あわてて登校させるためにおこりやすもので、登校途中、朝礼の時、または教室に入つて授業を始めようとするときなどに吐くことがある。この吐き気は、時間の節度や訓練にとほしく、学校に行くといふので、ひどく神経過敏

になつて落ちつかない朝食をとつた児童にも見られる。また、かなり神経質な児童や甘やかされすぎた児童が急に生活の変化がおこつて敏感になつた場合にもおこることがある。

もつともこの嘔吐は神経性のもので、吐いてしまえばけりりとして平気になる。

算数や国語を入学前にしつける父兄は多いが、これらの基本的なしつけをする父兄は少い。

新入児の家庭へは、少くとも二ヶ月前から、こうした便所のしつけや洋服を自分で着る習慣、なんでも食べる習慣などをつけるよう連絡することが肝要である。

また、そのような事故をおこしやすい児童については、学校と家庭とが密接な連絡をとり、よくその原因をしらべ、ねおきの時間や、朝食のとおり方、登校法等をあらためるとともに、児童の神経を早く学校のふんきに慣れさせて過敏となるのを防ぐがねばならない。

(東京都高輪台小学校千葉たつ)

「学校保健」の個人のすすめ

本会々報は、発行以来多大の好評をうけておりますが、経費の関係もあつて、十分な御利用を願えない状況であります。ついでには、教員向は、実費一部十五円(送料共)の割で幾月分にも御送金下されば本会より直送いたします。(振替東京九八七六一番日本学校保健会)

駆虫の絶好期!

ダイアスは……サントニンと海人草有効成分を充分な分量で配合した、理想的な蛔虫駆除薬です

新蛔虫駆除薬

DAIWA

日本新薬株式会社

柴田の保健及環境衛生測定器

指示器音計	照度計
被曝測定器	紫外計
有害ガス検知器	輻射熱計
湿度計	通風計
水の検査器	食品検査器(型録器)

柴田化学器械工業株式会社
東京 上野花園町七 電話 下谷 (03) 5121-3

全日本学校医会結成

終戦後、学校医は重責を担いながら全国学校医をうつつ一丸とする結束をもたなかつたが、第三回高松学校保健大会におけるその懇談会で、全国学校医の結合があらゆる面から緊要であるという論議が交わされた結果、第四回全国大会においていよいよ全国学校医の結合が具体化するに至つた。

松江市商工会議所における学校医懇談会は地元医師会長の斡旋により第一日(十月九日)午後七時から催され、ただちに参集の会員五十七名は、これを日本学校医会結成会とするに一致し、議長に福岡の湖東民を挙げて成否をはかるや、東西各代表から熱烈な賛成の叫びがあり、その結果満場一致で結成を遂げた。特に出席をお願いした岩原拓先生より、今後学校医は、更に結んでその職分に邁進さるべき激励の言葉があり、一同多大の感銘をうけた。ついで会則の審議に入り、草案者名

保健ライブラー

東京都立駒場高校
青柳兵司

(7) Snyder, R. A. et Scott, H. A. 1954; Professional Preparation in health, physical education, and recreation.

わが国では、体育科と保健科との教科としての領域が、つねに問題となつてゐる。本書は、健康教育と体育とリクリエーションを明確に區別して、それぞれの領域の足場となる理念と原則を克明に説明している。しかも、この三者を学校教育にむすびつけて、それらの間の交流を説いている。400頁に余るもので、文章は稍々難解な所が多いが、一読に価する。

(8) Herbert, B. 1952: How to stop smoking.

隨筆調のもので、専門の生理や病理に関する記載は全く見られないが、学生・生徒の喫煙問題を、教育者の立場からどのように採り上げて行くべきであるか、がよくわかる。

(9) Brown, F. et Kempton, R. T. 1950; Sex questions and answers.

純潔教育のために必要な具体的な問願のあり所を解説してある。

—次号つづく—

古屋市代表の説明を多少是正して可決した。

新しく生れた会は、全国各都道府県の学校保健会を構成する学校医の団体を以て成り、各ブロック代表を副会長に、又各府県代表を評議員とし、評議員から理事を互選する。会長以下役員を選定は、今回限り東京に一任し、中央地方及び次期大会主催地等との連絡を円滑ならしむる便法をとることに落ちついた。

(広瀬)

昭和三十年年度関東甲信越静地区域養護教員研究集会要項

期日 八月中旬
会場 群馬県伊香保中学校
特別講演 学徒の精神衛生について
特別研究課題
小学校

1、児童の健康観察結果の処理はどのようにしたらよいか
2、養護教諭の平常執務の基準はど

うあるべきか
3、児童の保健活動を活ぼつにするために養護教員はどんな指導と助言とをあたえたらよいか
中学校・高等学校
1、養護教諭の平常執務の基準はどうか
うあるべきか
討論会主題
保健室は学校のヘルスセンターとしてどんな役割を果しているか
(千葉、群馬、茨城各県)
明三十一年度会場 栃木県

埼玉県学校保健研究大会

第四回大会を十一月十七日、浦和市埼玉会館で開催、学校保健優秀功労者等の表彰、研究発表(埼玉大杉浦正輝助教授)特別講演(渡辺博十)などを行った。

愛知県学校保健大会

第三回大会を十一月十三日十四日名古屋市愛知労働会館で開催、健康優良児童生徒の表彰及び健康優良学校、保健活動優良校の表彰研究発表

特別講演等を行い盛会であつた。

和歌山県学校保健大会

第二回大会を十月二十三、四日の両日白浜観光会館及び白浜中学校で開催。研究発表、特別講演、協議会を行った。

保健指導者(学校薬剤師)講習会開催

文部省、本会主催で十二月一日、二日の両日、東京都立教育研究所で開催、健康教育の理論と実際、学校薬剤師の職務について等の講義を行った。

寄稿のお願い

各府県学校保健会の行事、人事異動や各地の学校保健界の動向、その他保健隨筆など御寄稿下さい。

謹賀新年

昭和三十年一月

昨年は御支援により大過なく過し大会も無事終了しました。学校保健の今後には学校保健法の制定その他について幾多の解決すべき問題を残しております。これらの問題解決のため、同時に学校保健推進向上のため本年も何とぞ各位の絶大の御協力御支援をお願い申し上げます。

財団法人日本学校保健会

理事長 岩原 拓



頭痛・神経痛

生理痛・歯痛・肩痛・腰痛

★1回に1錠乃至1錠半服用
連用しても胃を害しません



(包装) 10錠 100円・20錠 180円・100錠 700円

